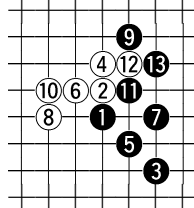


遊星ガイド (8)

九段 河村典彦

今回はいよいよ“あの”白4をやつていこう。

第65図

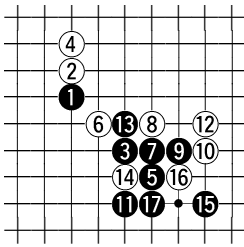


【第65図】この白4は、見ただけで「まずは何かの珠型に戻ることはない」ということがわかる形である。そうすると、これまでの常識が通用しなくなるので、順に調べていこう。

自由引かれそうだが、黒11と止める手がちやんとミセ手になつておのが勝ちに導く一手となる。白8、10と黒7で迷うだろう。ここは黒7とけん制して、白12と止められても黒13で大丈夫。

まずは黒5と引く手が大丈夫か、というところから確認したい。白6は当然だが、次の黒7で迷うだろう。ここは黒7とけん制して、白8、10と黒7で迷うだろう。ここは黒7とけん制して、白12と止められても黒13で大丈夫。

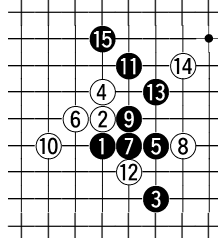
第66図



【第66図】前図の黒5が成立するということは、この5も成立するということになる？外止めは前図とほぼ戻るので、白6と止めるのは当然のだろう。そこで黒7と固まって、ここだけで勝てるかという話になる。こゝう見た時に、白2、4の石がいかにか離れているかわかるだろう。この2つの石は、もう一個石が入らないと生きてこない。逆に言えば黒はもう一手かけられる前に固まってしまえばよい。

白8がかかるうじて4の石と関連ある

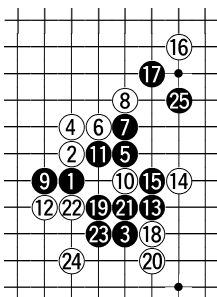
第67図



防ぎだが、黒9から引いてしまえば関係なくなる。盤端が近くても、黒17まで勝ち切れる。

【第67図】次に黒が勝ちやすいのはこの黒5だろうか。いかにも3つの石の関連性が良い。白は6と打ち、止めると同時にけん制する手が唯一の手なのだが、黒7と引かれた時、白8から止めないといけないのが辛い。こうしておいて、黒9と止めておくのが絶好の一手となる。勢い白10から12と打つてみるが、黒13と引ければ何の問題もない。白14に黒15と引いて、以下四追いとなる。

第68図

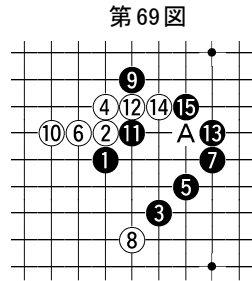


【第68図】この黒5も似たような意味合いとなる。この3つの石のコンビネーションは桂馬の珠型の定石にありそうである。いくら同じ形にはならなくても、いい形というのは似てくるものだ。今度は白6とこちらからけん制してくだらう。しかしそれには黒7と打つておいて良い。白8と引かれても、黒9と止める手がちやんとミセ手になつてくる。白10と止めたら、黒11と引き、黒13の呼手が絶好となる。こういう手を実戦で打てれば連珠が楽しくなる。(打たれた方はたまらないだろうが)

白14と防ぎ、黒15に白16と飛ぶのが長連筋で防ぐ手筋なのだが、黒19と残された連を三にして一直線に勝ちを目指す。ここからそれぞれの反対止めがちよつと複雑なのだが、メインの勝ち方を知って

おけばあととは実戦で勝てるだろう。黒25で以下両勝ちとなる。

【第69図】さて、いよいよこれからが本番である。この黒5の攻防

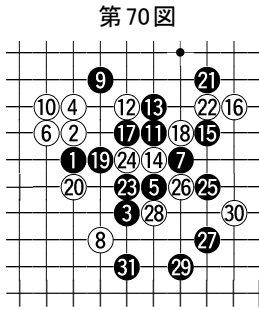


【第69図】さて、いよいよこれからが本番である。この黒5の攻防

がこの白4の最大の醍醐味である。本題に入る前に、一つ軽いのをやっておこう。白6に対し、黒7、9がかかとで凌ぐ防ぎである。そこで白10、12と黒の三々を脅かす手があるように見えるが、黒13がその狙いを外すうまい手。ついAに打つてみたくなるが、それだと白の狙いに嵌まる。白14には黒15で問題ない。

第69図

【第70図】白は10と四つ目に固まるのがすこぶる強い。普通は四つ

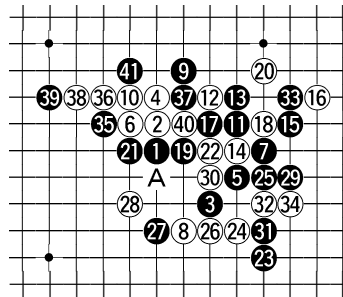


目には固まるとはダメとしたものだが、この場合は黒11、13と打つ手がある。こういうのは知らないで打てない。さらに、黒15から19と乗り込んで、四つ目の勢力を消しかかる。ここで白20と下から止めるのは、黒21が絶好で、黒勝ちになる。白22、24と止めても、黒25の後に黒27が含み手となるのがたまらない所だ。この手が打てれば盤

端が近いが勝ちが出る。

【第71図】白20は上から止めるのが正解となる。ここで一本黒21と打たなければならず、白22と止められて黒の勢力が消されてしまうのが辛い所。しかし、黒21を打たないと、白21とノリ手で防がれる

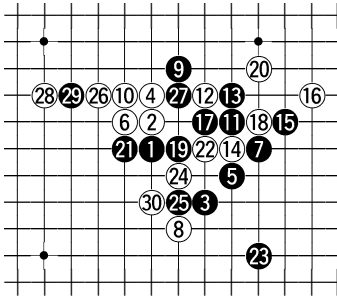
第71図



【第71図】黒23に対しては、白は素直に24と止める手もある。この

手には当然黒25と両ミセ風の手を打つのだが、ここで白は上辺で飛び道具を使って防ぐのが粘りのある防ぎとなる。すなわち、白26、

第72図



28と2回四を打ち、白30と止めておく。こうして黒が打ちたい点を四々禁とし、さらに右辺で黒に一手で含み手を打たせないのが白は自慢である。しかし、黒は次に右辺で牽制手を打てるので、実際には正しく打てば黒が勝てそう。こういう勝負は研究量が多い方が勝つので、丸裸で飛び込むのは避けた方がよい。